

第4期熊本県教育振興基本計画の指標案について

資料3

- ・黄色セルは今回の委員会で、新たに候補として提案する指標
- ・★がつく指標は、10の基本的方向性ごとに設定する重点指標

【基本的方向性1】家庭・地域の教育力向上

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
★保護者が家庭教育について学んだ園の割合 (「親の学び」講座等を実施した園の割合)	「親の学び」講座等実施状況調査 【実施主体】県 【調査対象】就学前施設	55.1%	80%	1 家庭の教育力の向上	○第3期プランでも同様の指標を設定 (R元)34.4%⇒ (R5目標値)50%
○市町村における家庭教育支援員の配置の割合	実績取りまとめ 【実施主体】県 【調査対象】市町村	9%	50%	1 家庭の教育力の向上	○第4期での新規項目 ○地域で子育ての悩みを相談できる保護者の割合が低く、支援員の配置により家庭教育を社会全体で支援する
○市町村における放課後子供教室実施の割合	コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査 【実施主体】県 【調査対象】市町村	75%	100%	2 地域の教育力の向上 21 地域とともにある学校づくり	○第4期での新規項目 ○第3期でも実施してきた放課後子供教室設置の取組みを継続し、全市町村での実施を目指す

指 標 名	出 典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
○スタートカリキュラム*実施後に、入学後の児童の様子やカリキュラムの内容について、園等と意見交換した小学校の割合 ※スタートカリキュラム…幼児期に遊びを通じて育まれてきた力を、各教科等における学習に円滑に接続するための小学校入学当初のカリキュラム	教育指導の反省 【実施主体】 県 【調査対象】 公立小学校	現状値 なし	100%	3 就学前教育の充実と小学校以降の教育との円滑な接続	○第4期での新規項目 ○園等と小学校等との意見交換による相互理解を促進する

【基本的方向性2】安全・安心に過ごせる学校づくり

指 標 名	出 典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
★「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた児童生徒の割合	心のアンケート 【実施主体】 県 【調査対象】 小・中・高校・特別支援学校の児童生徒	現状値 なし	100%	5 いじめへの対応	○第4期での新規項目 ○いじめの未然防止にあたり、最も重要な考え方に関する指標を設定する
○いじめを見たり聞いたりしたとき、いじめを受けた児童生徒のことを思い、行動することができたと答えた児童生徒の割合	心のアンケート 【実施主体】 県 【調査対象】 小・中・高校・特別支援学校の児童生徒	現状値 なし	100%	5 いじめへの対応	○第3期では「いじめを受けて誰かに話をした、又は自分で解決できると答えた割合」だったが、周囲の子供たちの行動に関する指標を新たに設定する

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
★不登校の児童生徒が、教職員だけでなく学校内外の専門機関等からの支援を受けている割合 (公立小中学校)	定例報告 【実施主体】県 【調査対象】公立学校の児童生徒	調査予定 (R6.7頃)	100%	6 不登校への対応	○第3期でも同様の指標を設けたが、支援主体の定義を「専門家」から「学校内外の専門機関等」に拡げる
○不登校を含む児童生徒の校内教育支援センターの利用者数	長欠調査 【実施主体】県 【調査対象】市町村	333人	500人	6 不登校への対応	○第4期での新規項目 ○設置を推進する校内教育支援センターに関する指標を新たに設定する

【基本的方向性3】確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
★「授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と思う児童生徒の割合 (小中学校)	全国学力・学習状況調査 【実施主体】文部科学省 【調査対象】小学6年生、 中学3年生(市町村立)	小学校 74.8% 中学校 73.3%	毎年 前年度を 上回る	8 確かな学力の育成	○第4期での新規項目 ○第3期では「当該調査で全国平均を上回った項目数」を指標としたが、児童生徒の学びの主体性に課題があるため、新たな指標を設定する

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
○「授業の内容がよく分かる」と 思う児童生徒の割合（小中学校）	全国学力・学習状況調査 【実施主体】文部科学省 【調査対象】小学6年生、 中学3年生（市町村立）	小・国語 87.3% 小・算数 80.4% 中・国語 76.5% 中・数学 66.9% 中・英語 55.8%	毎年 前年度を 上回る	8 確かな学 力の育成	○第4期での新規項目 ○小学校の国語を除く教科で 「授業の内容がよく分かる」と 感じている児童生徒の割合が 全国値より低く、授業改善を図 る必要があるため、新たな指標 を設定する
★探究的な学びにおいて、整理や 分析を踏まえて、自分の考えを 分かりやすくまとめ、発表した 生徒の割合（高等学校）	実績調査 【実施主体】県 【調査対象】県立高校	調査予定 (R6.7 頃)	100%	8 確かな学 力の育成	○第4期での新規項目 ○第3期では「生徒の学力が向 上した割合」を指標としたが、 さらに充実を図っていく「探究 的な学び」に関する指標を設定 する
○熊本県教育委員会や文部科学省 が作成した資料（道徳科授業力 向上手引書・リーフレットやア ーカイブ等）を活用した研修を 行っている学校	教育指導の反省 【実施主体】県 【調査対象】県内公立小 中学校	68.4%	毎年 前年度を 上回る	9 豊かな心 を育む教育 の充実	○第4期での新規項目 ○県教委ではR5年3月に道徳 教育充実のための資料を作成 しており、授業力向上に係る指 標を設定する

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
○「運動やスポーツをすることが好き、どちらかというが好き」と回答した児童生徒の割合	①全国体力・運動能力、 運動習慣等調査 熊本県体力・運動能力、 運動習慣等調査 【実施主体】 ①スポーツ庁、②県 【調査対象】 ①小学5年生・中学2年生 (市町村立) ②県立高校2年生	小5 88.7% 中2 81.3% 高2 82.0%	毎年 前年度を 上回る	10 健やかな 体の育成	○第4期での新規項目 ○第3期では「児童生徒の体力が向上した割合」を指標としたが、「運動やスポーツが好き」の割合を高めることが体力の向上や豊かなスポーツライフにつながることから、新たな指標を設定する

【基本的方向性4】障がいや多様な教育的ニーズに応える

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
★就学先決定のプロセスにおいて、「学びのものさし」を活用している市町村の割合	特別支援教育推進チェックリスト 【実施主体】県 【調査対象】市町村	現状値 なし	100% (44市町村)	12 特別支援 教育の充実	○第4期での新規項目 ○今後、普及を図る「学びのものさし」に係る指標を設定する
○小・中・高等学校及び特別支援学校教員が特別支援教育の専門性向上に資する研修を受講した割合	教員研修プラットフォーム(Plant) 【実施主体】県 【調査対象】小・中・高校・特別支援学校教員	現状値 なし	100%	12 特別支援 教育の充実	○第4期での新規項目 ○通常学級を含む全ての教職員に対し、合理的配慮の提供や指導の工夫・改善が求められており、新たな指標を設定する

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
○公立学校における日本語指導が必要な児童生徒のうち、日本語指導等特別な指導を受けている者の割合	日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査 【実施主体】国、県 【調査対象】公立学校の日本語指導が必要な児童生徒	国において調査中	100%	14 多様なニーズに対応した教育の充実	○第4期での新規項目 ○増加傾向にある、日本語指導が必要な児童生徒への対応に関する指標を設定する

【基本的方向性5】産業人材、グローバル人材の育成

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
○地域（産官学等）と連携し、キャリア教育に関するカリキュラム刷新に取り組んだ県立高校（全日制）の割合	実績調査 【実施主体】県 【調査対象】県立高校（全日制）	調査中 (8月末判明予定)	50%(仮) ※調査結果により目標値を決定	15 産業人材の育成とキャリア教育の充実	○第4期での新規項目 ○第3期では「インターンシップの体験割合」を指標としていたが、地域との連携の視点を加えた新たな指標を設定する
★中学3年生でCEFRのA1レベル相当（英検3級）以上を達成した生徒の割合	英語教育実施状況調査 【実施主体】文部科学省 【調査対象】中学3年生	46.6%	60%	16 外国語教育、国際教育の充実 20 優れた才能や個性を伸ばす教育	○第3期でも同様の指標を設けたが、対象を「英検3級相当取得率」から、資格取得等に限定せず「CEFR A1レベル相当達成」とする

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
★高校3年生でCEFRのA2レベル相当（英検準2級）以上を達成した生徒の割合	英語教育実施状況調査 【実施主体】文部科学省 【調査対象】公立高校3年生	43.1%	60%	16 外国語教育、国際教育の充実 20 優れた才能や個性を伸ばす教育	○第3期でも同様の指標を設けたが、対象を「英検準2級相当取得率」から、資格取得等に限定せず「CEFR A2レベル相当達成」とする
○「熊本の心」を家庭や地域との連携・啓発のために活用した小中学校の割合	道徳教育実施状況調査 【実施主体】県 【調査対象】公立小中学校	48.3%	毎年 前年度を上回る	17 ふるさとを愛する心の醸成 9 豊かな心を育む教育の充実	○第4期での新規項目 ○当該資料は既に道徳科の授業では全ての小中学校で使われており、家庭や地域との連携・啓発を目指す

【基本的方向性6】魅力ある学校づくり

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
★地元自治体や企業・大学等と連携した教育活動の回数（年20回）を達成した県立高校の数	実績調査 【実施主体】県 【調査対象】県立高校	50校中 26校 (52%)	50校中 40校 (80%)	19 県立高校の魅力化の推進 21 地域とともにある学校づくり	○第4期での新規項目 ○第3期では、「入学を希望する生徒が増加した県立高校の学科・コースの割合」を指標にしたが、多様なパートナーとの連携に主眼を置いた新たな指標を設定する

【基本的方向性7】 子供たちの学びを支える環境づくり

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
○本県教育委員会が実施する「初任者研修」「中堅教諭等資質向上研修」を受講し、資質能力の向上に「役立った」と回答した教員の割合	研修受講者振り返り 【実施主体】県 【調査対象】受講した全ての教員	現状値 なし	100%	24 教職員の 人材確保、 人材育成	○第4期での新規項目 ○教職員の資質向上に向け、研修の質に関する指標を設定する
★時間外在校等時間が月45時間以内の公立学校の教職員の割合 (県立・市町村立)	実績調査 【実施主体】県 【調査対象】県立学校、 市町村教育委員会	県立 76.7% 市町村立 70.0%	県立 90% 市町村立 85%	25 教職員の 働き方改革 の促進	○第3期では「県立学校の教職員の時間外在校時間が年360時間以内となっている割合」を指標としたが、対象を市町村立学校まで広げるとともに、中教審答申案の審議内容に合わせ、月単位で管理する指標を設定する
○クラウドを活用した校務の効率化（保護者への連絡、アンケートの実施、会議のオンライン化等）に多くの校務で取り組んでいる学校の割合	全国学力・学習状況調査 熊本県教育委員会調査 【実施主体】文部科学省、 県 【調査対象等】 小中学校、県立高校	小学校 43.4% 中学校 48.8% 県立高校 100%	小学校 100% 中学校 100% 県立高校 100%	25 教職員の 働き方改革 の促進 26 教育 DX の推進	○第4期での新規項目 ○特に小中学校において、ICTによる校務効率化を進めるため、新たな指標を設定する

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
★1人1台端末を授業でほぼ毎日活用している学校の割合	全国学力・学習状況調査 熊本県教育委員会調査 【実施主体】文部科学省、 県 【調査対象】 小中学校、県立高校	小学校 69.8% 中学校 66.7% 県立高校 74.6%	小学校 100% 中学校 100% 県立高校 100%	26 教育 DX の推進	○第4期での新規項目 ○1人1台端末の普及が進んだことから、積極的に活用することに主眼を置いた指標を設定する
○児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面で1人1台端末を使用（ほぼ毎日＋週3回以上）させている学校の割合	全国学力・学習状況調査 熊本県教育委員会調査 【実施主体】文部科学省、 県 【調査対象】 小中学校、県立高校	小学校 49.8% 中学校 41.4% 県立高校 48.3%	小学校 80% 中学校 80% 県立高校 80%	26 教育 DX の推進	○第4期での新規項目 ○1人1台端末の普及が進んだことから、積極的に活用することに主眼を置いた指標を設定する
○県立学校施設長寿命化プランに基づく県立学校の長寿命化改修事業着手済校数	長寿命化改修工事の進捗管理により把握	22 校中 8 校 (36%)	22 校中 22 校 (100%)	27 学びを支える施設の整備	○第4期での新規項目 ○学校施設の老朽化対策を確実に進めていくことについて指標を設定する

【基本的方向性8】文化・スポーツの振興と生涯学習の推進

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
○古墳館体験教室の参加者数	実績とりまとめ 【実施主体】県	4,500 人 ／年	4,725 人 ／年 (5%増)	28 文化に親しむ環境づくり	○第4期での新規項目 ○新たに文化振興に関する指標を設定する

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
★スポーツ実施率（週1回30分以上運動する割合）	スポーツの実施状況等に関する世論調査 【実施主体】スポーツ庁 【調査対象等】20歳以上の男女	57.3%	70%	30 県民のスポーツの振興	○第3期では「総合型スポーツクラブ設置割合」を指標としたが、県民に広く運動・スポーツの振興を図る新たな指標を設定する
○国民スポーツ大会男女総合順位	国民スポーツ大会 【実施主体】文部科学省、日本スポーツ協会、開催都道府県	35位	20位以内	31 競技スポーツの振興	○第4期での新規項目 ○競技スポーツの充実を図る指標として、熊本地震以前の水準を目指し設定する
○こども本の森 熊本の入館者数	実績取りまとめ 【実施主体】県	現状値なし	4年間で累計8万人	32 学習機会と学習成果活用の充実 9 豊かな心を育む教育の充実	○第4期での新規項目 ○多くの子供たちに来館いただき、感性や創造力を育んでもらえるよう、新たな指標を設定する

【基本的方向性9】 災害からの復旧・復興

指標名	出典	現状値 (R5)	目標値 (R9)	対応する 取組事項	第3期プランとの関係性、 設定の背景等
★文化財（国・県指定、国登録）の災害復旧が進んでいる割合（令和2年7月豪雨）	【調査名】実績取りまとめ 【実施主体】県 【対象】指定文化財	83%	100%	33 災害からの復旧・復興	○第3期プランでも同様の指標を設定(R5目標85%) ○文化財の完全復旧を目指し、継続して指標を設定